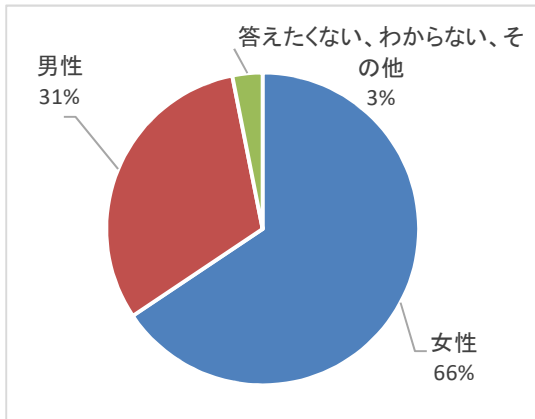


結果

小学5年生から高校生までの64名に回答をいただきました。

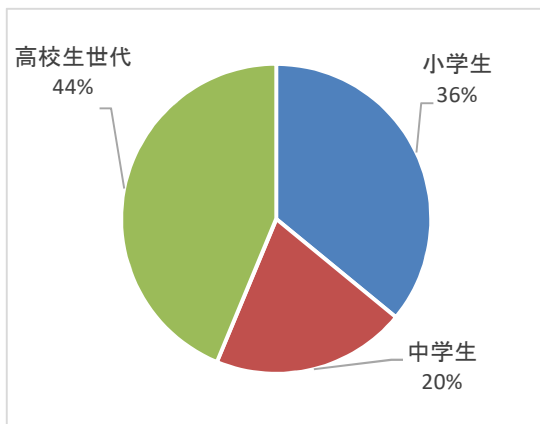
○回答者性別

女性が66% (42名)、男性が31% (20名)、答えたくない、わからない、その他が3% (2名)でした。



○回答者世代

小学生 (5・6年生) が36% (23名)、中学生が20% (13名)、高校生及び高校生に相当する年代が44% (28名)でした。



○「女の子」「男の子」という言葉のイメージ

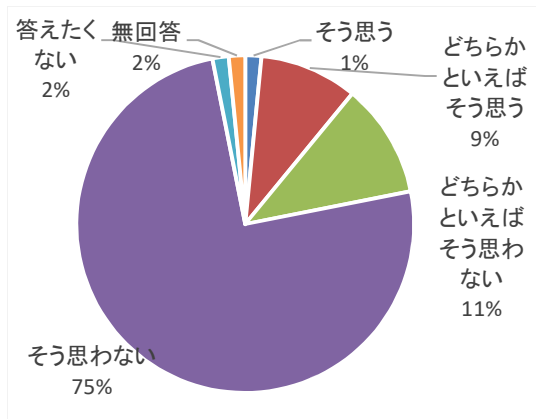
「女の子」「男の子」という言葉から思い浮かぶものを聞いたところ、「性別」「違い、分け方」「かわいい、カッコいい」「女の子はピンク、男の子は青色」「違いはない」「幼い子」といった意見をいただきました。

○ジェンダー・ステレオタイプ的な考えに対する意識

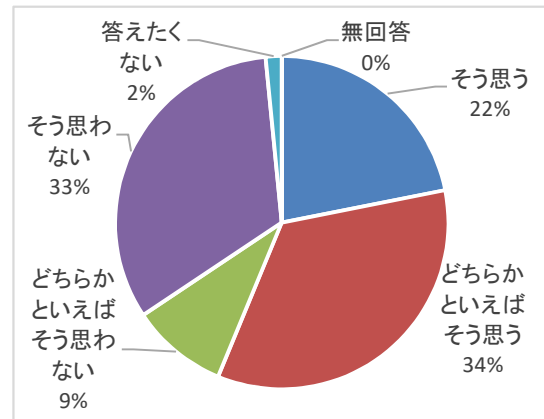
「男の子は人前で泣くべきではない」「女の子は感情的になりやすい」「女の子はピンク、男の子は青色が好きだ」「女の子は男の子よりも理系 (算数・数学・理科) が苦手だ」「女の子は男の子よりも家事・育児に向いている」「男の子は女の子よりも外で働くことに向いている」「男の子は女の子よりもリーダーに向いている」という考え方についての意識を聞いたところ、以下の結果になりました。

※ジェンダー・ステレオタイプ: 社会に広く浸透している、性別に関する固定的な思い込みやイメージのこと

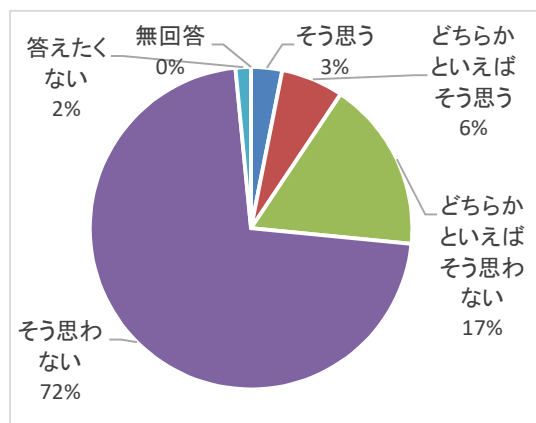
・男の子は人前で泣くべきではない
「そう思わない」が75%、「どちらかといえばそう思わない」が11%でした。



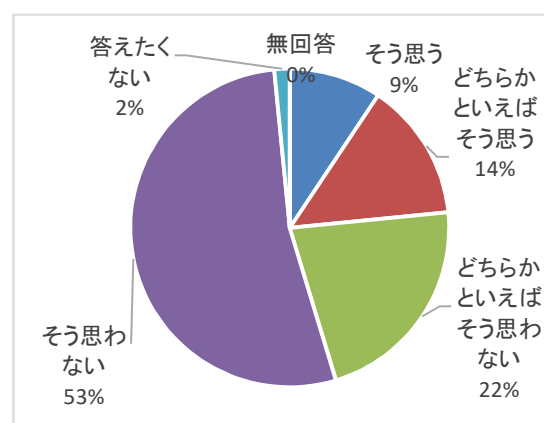
・女の子は感情的になりやすい
「どちらかといえばそう思う」が34%、「そう思わない」が33%でした。



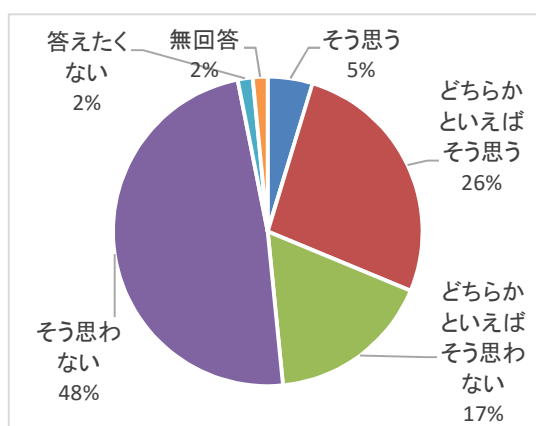
・女の子はピンク、男の子は青色が好きだ
「そう思わない」が72%、「どちらかといえばそう思わない」が17%でした。



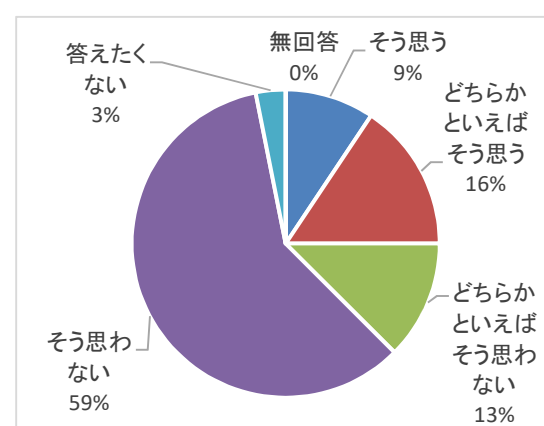
・女の子は男の子よりも理系が苦手だ
「そう思わない」が53%、「どちらかといえばそう思わない」が22%でした。



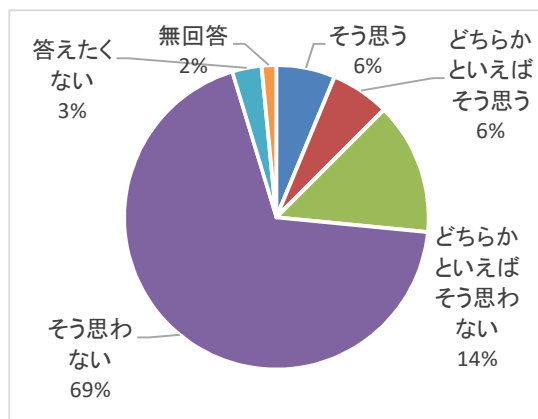
・女の子は男の子よりも家事・育児に向いている
「そう思わない」が48%、「どちらかといえばそう思う」が26%でした。



・男の子は女の子よりも外で働くことに向いている
「そう思わない」が59%、「どちらかといえばそう思う」が16%でした。

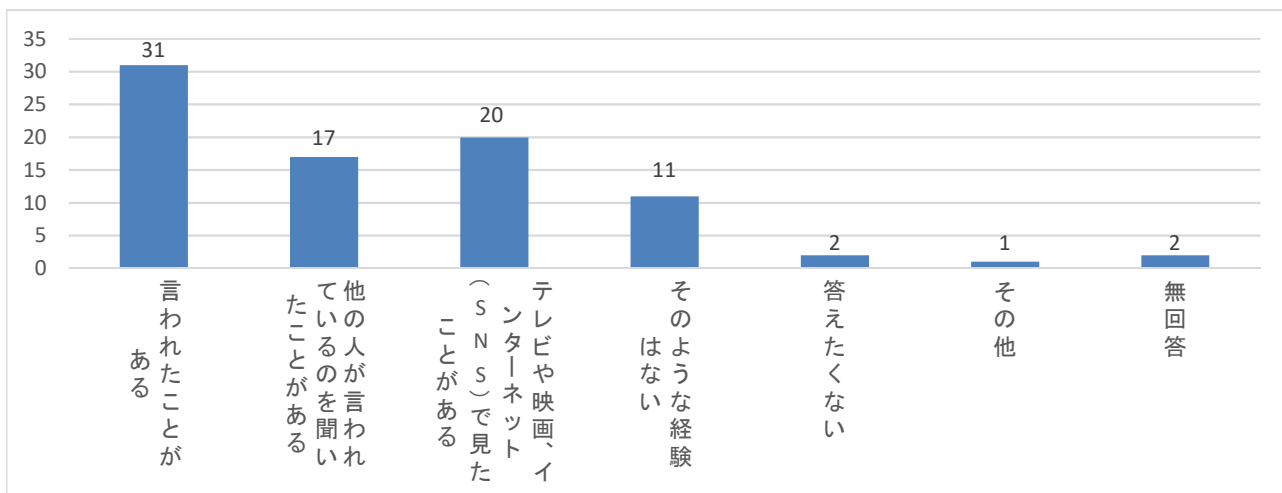


・男の子は女の子よりもリーダーに向いている
「そう思わない」が69%、「どちらかといえばそう思わない」が14%でした。



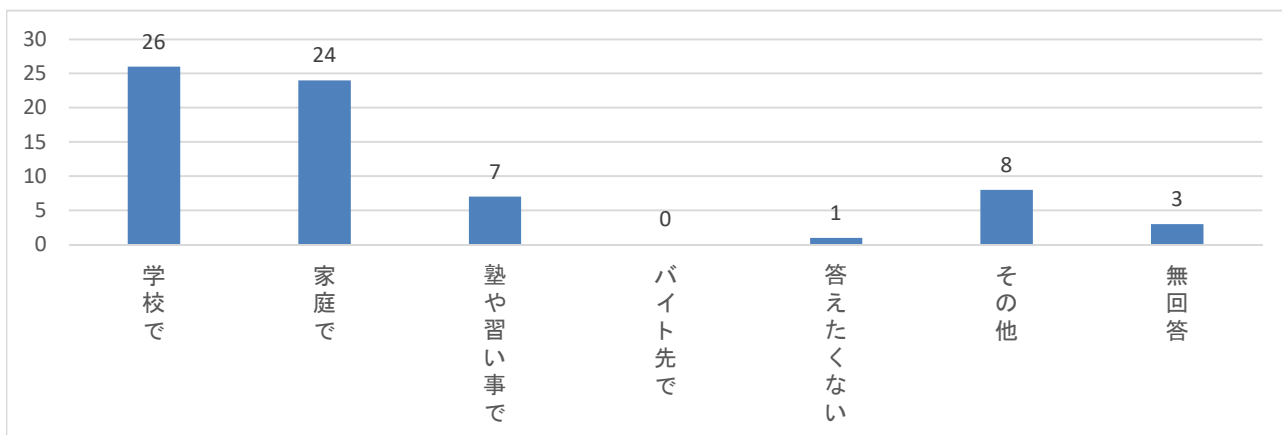
○「男の子だから」「女の子だから」と言われたり見聞きした経験

「男の子だから」「女の子だから」と言われたことや見聞きしたことはあるか聞いたところ、31名が「言われたことがある」、20名が「テレビや映画、インターネット(SNS)で見たことがある」、17名が「他の人が言われているのを聞いたことがある」と回答しました。



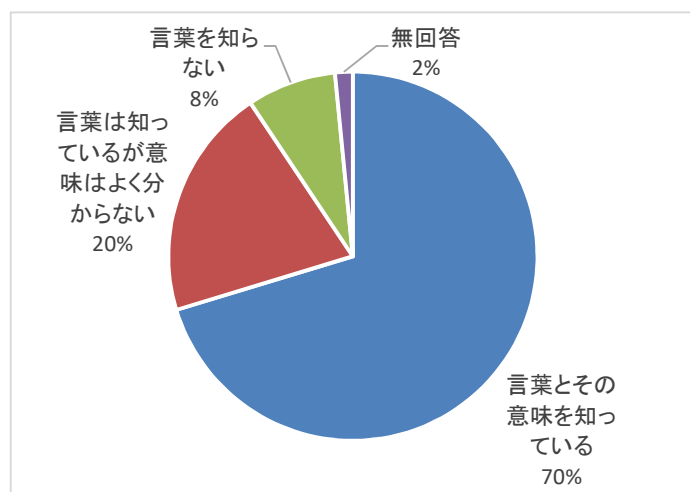
○「男の子だから」「女の子だから」と言われたり見聞きした場所

前の質問で「男の子だから」「女の子だから」と言われたことや見聞きしたことがあると答えた方に、どこで言われたり見聞きしたりしたか聞いたところ、26名が「学校で」、24名が「家庭で」、7名が「塾や習い事で」、8名が「その他」と回答しました。



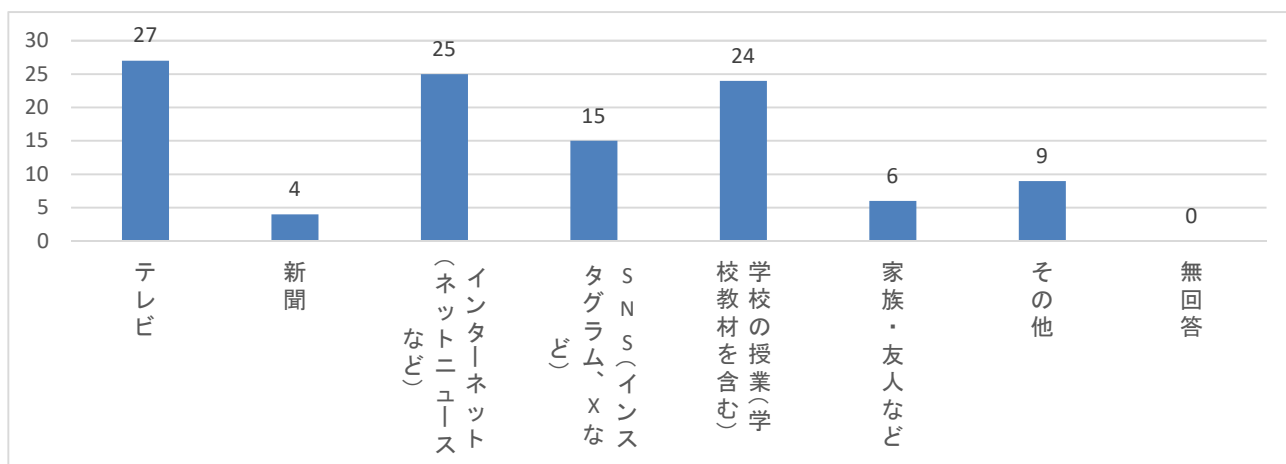
○「ジェンダー」という言葉の認知度

「ジェンダー」という言葉を知っているか聞いたところ、「言葉とその意味を知っている」が70%、「言葉は知っているが意味はよく分からない」が20%、「言葉を知らない」が8%でした。



○「ジェンダー」という言葉を知った場所

前の質問で「ジェンダー」という言葉について、「言葉とその意味知っている」「言葉は知っているが意味はよく分からない」と答えた方に、どこで知ったか聞いたところ、26名が「学校で」、24名が「家庭で」、8名が「その他」と回答しました。



○性別にとらわれず、自分らしく生きられる社会の実現に必要なこと

女の子も男の子も性別にとらわれず、自分らしく生きられる社会にするために何が必要だと思うかを聞いたところ、「人々の意識を変えること」「お互いを認め合うこと」「男女で差別化をしないこと」「話し合うこと」「教育の機会」「男は〇〇、女は〇〇というイメージ・偏見を持たないこと」といった意見をいただきました。